



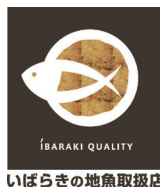
水素トラック

ヨークベニマルは、福島県とトヨタ自動車株式会社(本社:愛知県豊田市)様が推進している「水素を活用した新たな未来のまちづくり」に参画し、Commercial Japan Partnership Technologies株式会社様(本社:東京都文京区)と連携することで、「水素燃料電池小型トラック」での店舗配送を開始いたしました。水素を燃料とし、電力に変えて動力とすることで、二酸化炭素を排出せず、水のみを排出し走行する、環境にやさしいトラックでの社会実装検証です。



「いばらきの地魚プロジェクト」への参画

「いばらきの地魚プロジェクト」とは、茨城県産の魚介類(いばらきの地魚)の消費拡大や認知度向上に取り組む『いばらきの地魚取扱店認証委員会』、『ヨークベニマル(いばらきの地魚取扱店)』、『常磐大学』の3者が連携し、「若者の魚離れ問題」を解決するためにつくられた産学官共同のプロジェクトです。茨城県の地魚の認知度アップと普及、「若者の魚離れ」という課題を解決するために、その3者が手を組み、商品開発をいたしました。常磐大学人間科学部健康栄養学科の学生さんが商品開発にも協力してくださり、2021年6月より、茨城県を代表する「サバ」を使用した「IBARAKI SABA CURRY」「IBARAKI SABA TOMATO」を販売開始。2022年10月より、茨城県内で水揚げが多い「やりいか」を使用した「IBARAKI YARIIKA MARINADE(マリネ)」を発売し、茨城県内店舗にて販売しております。今後とも、地域の活性化や生産者の皆さまを支援してまいります。



仙台白百合女子大学× ヨークベニマル 共同開発商品の販売

普段から魚を召し上がらない若年層の方や、魚が苦手な方にもおすすめができるよう、仙台白百合女子大学の健康栄養学科の学生さんがレシピを考案し、お魚を使った商品を共同開発しています。2022年11月より「いわしボール」「勝つおフレーク」を、2023年11月より「いわしメンチ」を、宮城県・山形県内店舗にて販売しております。今後も、地域の食材を取り入れた商品をお客様の食卓にお届けし、それが地域の活性化につながり、ひいては生産者の皆さまを応援できるよう、努めてまいります。



2023年11月より販売 「いわしメンチ」



2022年12月より販売 「いわしボール」「勝つおフレーク」